



川越未来の会 **加藤みなこ**
加速的に広がる外国籍市民 17



問川越市の国民健康保険に加入している外国籍被保険者の国保税の滞納状況について伺いたい。

答保健医療部長 令和6年度に課税した外国籍世帯主の延べ世帯数5356世帯のうち、滞納世帯数は2164世帯で、滞納世帯の割合は40.4%である。

滞納額では、調定額2億4107万9500円に対し、滞納額が9578万1320円で、滞納額の割合は39.7%である。



外国人市民



日本維新の会 **柳沢貴雄**
富士山噴火の降灰対策 18



問内閣府のガイドラインを見る限り、本市は防災計画の修正が必要と考えるが、川越市地域防災計画を今後どのように変更していくのか伺う。

答危機管理監 内閣府のガイドラインは、富士山が噴火した際の降灰のシミュレーション結果を基に、国・地方公共団体・関係機関などが連携し、降灰量に応じた具体的な対策を検討するための考え方や留意点を示したものである。今後、このガイドラインを受け、国の防災基本計画や埼玉県地域防災計画が修正された際には、それらの計画との整合を図りながら、本市の降灰対策について改めて検討し、地域防災計画を修正していく。

大規模災害への備え



初雁自由政令会 **海沼秀幸**
プロスポーツとの連携を 19



問市長の公約において新たな野球場、サッカーコートの整備を行うとあるが、プロスポーツ等と連携するに当たって、施設整備をどのように考えるか？

答市長 プロスポーツには、人々に夢や感動を与えるとともに、地域活性化や経済効果にも貢献するなど、さまざまな効果が期待できるため、連携は重要な施策の一つと考えている。一方で、スポーツ施設の整備は、場所の選定や用地取得、建設工事等、相当の時間や多額の予算が必要となるため、市民やスポーツ団体との合意形成を図りつつ、市のさまざまな施策との調整や市の財政状況等を考慮した上で、進め方を検討したいと考えている。

プロスポーツとの連携 増形産業団地整備利用



初雁自由政令会 **村山博紀**
地域の声を反映した桜植樹 20



問藤原町第一公園の桜も気になるが、清水町公園で隣接する民家にまで枝が伸びた桜の老木を伐採し、新たに桜を植樹してほしいという地元要望や声は反映できるのか。

答都市計画部長 清水町公園の桜については、植栽されてから50年以上が経過し、地域の中でも特に大きく成長した樹木の一つとなっている。

桜の伐採については、桜の花を楽しみにしている人から伐採後に意見をもらうことがあるので、清水町公園の桜の伐採および新たな植栽を実施する場合には、地元自治会の意見も聞きながら検討したいと考えている。

公園の樹木の管理と整備



無所属 **川口啓介**
特別教室も地域に開放を！ 21



問校庭や体育館だけでなく、音楽室等の特別教室も地域住民に開放し、公共施設を有効活用するべきではないか。

答学校教育部長 学校の教育活動に支障のない範囲で、地域住民に学校施設を開放し、交流や学習の場として提供することは、地域と学校の結び付きをより深め、地域に開かれた学校となっていくものと捉えている。

しかし、校舎内にある特別教室の開放については、学校備品の活用や校舎の施設等、施設や設備等の管理面で課題があると認識している。今後は、特別教室を開放する体制を整えることについて、関係課と連携し、先進事例等について調査研究を進めていく。

学校に関わる諸課題



政策フォーラム **高橋剛**
核兵器のない社会の実現を 22



問今年は、広島、長崎の原爆被爆から80年。核兵器のない社会の実現に向けて、教育者としての教育長の思いはどのようなものか。

答教育長 核兵器の廃絶、そして、平和の大切さについて児童生徒に考えさせることは大変重要なことと考える。また、こどもたちが国際社会の一員としての責任を自覚し、将来にわたって平和の実現に貢献できる人材を育成することは教育の目的の一つであり、極めて重要であると考えている。児童生徒が平和で安全な社会のつくり手となるようにするためにも平和に関する教育を推進していく。

平和施策と平和教育 古谷地区公立保育所 稲カメムシ対策